

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月16日 (火)	
9:05-9:10	主催者挨拶 平田喜裕 日本経済新聞社専務取締役
9:10-9:20	基調講演 平井卓也 デジタル改革担当大臣
9:30-10:10	単独講演 北尾吉孝 SBI ホールディングス代表取締役社長
10:30-10:50	単独講演 三毛兼承 三菱 UFJ 銀行取締役頭取執行役員 兼 全国銀行協会会長
11:00-11:20	単独講演 デイビッド・ショー NEM グループ CEO
11:30-12:30	パネル 暗号資産ビジネスの可能性と将来 陳海騰 Huobi Japan 代表取締役社長 フェルナンド・ルイス・バスケス・カオ SBI セキュリティ・ソリューションズ代表取締役 SBI デジタルアセットホールディングス代表取締役 佐々木俊典 BOOSTRY CEO 河合健 アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業 パートナー・弁護士 三輪純平 金融庁国際政策管理官 モデレーター 関口慶太 日本経済新聞社編集局フィントックエディター 概要 2020 年に米スクエア、PayPal がビットコインの取り扱いを決めたのに続き、2021 年には米テスラがビットコインに 1600 億円投資すると発表、暗号資産の周辺がにわかに熱を帯びてきた。投資・投機中心の動きから様々なビジネスや人々の暮らしを変えるイノベーションツールとして開花するのか。暗号資産ビジネスの可能性と将来について、専門家が語り合う。
12:30-13:00	休 憩
13:00-13:20	挨拶 黒田東彦 日本銀行総裁
13:30-14:20	パネル DX で再生する地域金融と地方経済 日下智晴 金融庁監督局地域金融企画室長 部谷俊雄 ひろぎんホールディングス代表取締役社長 広島銀行代表取締役頭取 中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長執行役員 兼 CEO 柳川範之 東京大学大学院経済学研究科教授 モデレーター 滝田洋一 日本経済新聞社編集局編集委員 概要 新型コロナ旋風は世界中でデジタル化 (DX) の促進、非対面ビジネスの導入を迫っている。対面を前提にしてきた業界には逆風だが、距離の壁や時間の制約を軽減するデジタル化 (DX) は、考え方によっては構造不況と言われる地域金融や地方経済にとって再生のきっかけを生み出すチャンスといえなくもない。その実現のために何が必要なのか、徹底的に議論する。
14:30-14:50	単独講演 中国で 543 万店舗が利用する EC プラットフォーム Youzan が考えるフィントック成功の鍵 朱寧 CHINA YOUZAN エグゼクティブディレクター 兼 CEO 概要 現在、急拡大する中国 EC 市場において、4 億人以上の消費者にサービスを提供し、1 日あたり数百万件の注文と数億件のメッセージがやり取りされている EC プラットフォーム Youzan。中国における UX デザイナーの先駆者の一人、Youzan の創業者 朱 寧がフィントックを成功させるポイントについて解説いたします。

15:00-15:50	パネル 金融のデジタル化と新ビジネス 谷崎勝教 三井住友フィナンシャルグループ執行役専務グループ CDIO 三井住友銀行専務執行役員 日本総合研究所代表取締役社長 兼 最高執行役員 川島克哉 SBI ホールディングス代表取締役副社長 村井英樹 衆議院議員 山内奏人 WED 代表取締役 モデレーター 佐藤史佳 日本経済新聞社編集局経済部記者 概要 金融のデジタル化、DX の目的は従来業務の電子化、効率化にとどまるものではない。これまでの経験や知見、人材やデータなどのリソースをフルに生かして、新しい領域で生産性の高いビジネスを創出してこそ金融のデジタル化は意義を持つ。そのために必要なことは何か。実践的立場から徹底的に議論する。
16:00-16:50	パネル デジタルアセット発展の鍵握る「決済インフラ」の行方 藤本守 SBI ホールディングス執行役員ブロックチェーン推進室長 SBI R3 Japan 代表取締役 CEO 佐野尚志 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ戦略投資部戦略投資部長 山岡浩巳 フューチャー取締役デジタル通貨フォーラム座長 モデレーター 鈴木亮 日本経済新聞社編集局編集委員 兼 キャスター 概要 ブロックチェーン技術の進化、金商法改正などにより、不動産、株、債券などのデジタルアセットが注目を集めている。その発展の鍵を握るのは決済インフラ。本命の CBDC が登場するまでの間、民間のデジタル通貨や取引所がその役割を担えるのか。国際的な競争の行方も含め、議論する。
17:00-17:30	対談 中小企業金融の復活 Covid 19 から学んだこと リシ・コスラ OakNorth 社共同創業者 兼 最高経営責任者 上杉素直 日本経済新聞社編集局コメンテーター 概要 今日のネット社会において中小企業や個人事業主が経済に占めるプレゼンスは拡大の一途にあり、彼らの起業や事業拡大への資金面での支援は経済のダイナミズムのためにも必須である。銀行融資が行き渡らない起業家というセグメントに特化して融資を行い、自社プラットフォームを海外金融機関へのライセンスを通し世界の中小企業融資の革新に挑む英国チャレンジャーバンクの OakNorth 創業者に、コロナ禍で特に重要性が増した中小企業の資金ニーズにどのように向き合ってきたかを聞く。
17:40-18:10	対談 レガシーバンクからの脱却～10x Future Technologies の挑戦 アントニー・ジェンキンズ 10xFuture Technologies Group 創業者 兼 会長 上杉素直 日本経済新聞編集局コメンテーター 概要 フィンテックやチャレンジャーバンクの新しい金融の担い手が増え、新しい銀行像やレガシー脱却の必要性が叫ばれて久しい。元パークレイズ CEO として銀行が構造的に抱える問題を熟知したアントニー・ジェンキンズ氏はテック・スタートアップを起業し、銀行のレガシー脱却の実現に奔走している。同社社名でもある 10 倍優れた銀行とは、そのような銀行に必要なテクノロジーとは、また銀行がテクノロジーを活用する上で克服すべき課題等を議論する。

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール）

3月17日（水）	
9:00-9:05	挨拶 赤澤亮正 内閣府副大臣（金融）
9:10-10:00	セッション1 ポストコロナで金融サービスとテクノロジーは如何にあるべきか

モデレーター 概要	サムソン・モウ Blockstream CSO Pixelmatic CEO ブラッド・カー 国際金融協会デジタルファイナンスマネージングディレクター 横田浩二 みんなの銀行代表取締役頭取 ふくおかフィナンシャルグループ取締役執行役員 松尾元信 金融庁証券取引等監視委員会事務局長 崎村夏彦 OpenID Foundation 理事長 コロナを契機として、人々の行動様式が大きく変わり、デジタル化が急速に進む中で、金融に求められる役割も変容してきている。こうしたもとの、新たな技術に基づく金融サービスのあり方を考える上では、その前提となる「信頼」のあり方を問い直す必要がある。新たな「信頼」の構築に技術がどのように貢献できるのかについて、大所高所から議論する。
10:20-11:10 モデレーター 概要	セッション2 デジタル上の「信頼」構築に向けたビルディング・ブロック モティ・ウン Google セキュリティ&プライバシーリサーチサイエンティスト 安田クリスティーナ マイクロソフト・コーポレーションアイデンティティ規格アーキテクト トーステン・ロッダーシュテット yes.com CTO 手塚悟 慶應義塾大学環境情報学部教授 松尾真一郎 ジョージタウン大学 Department of Computer Science 研究教授 NTT リサーチ CIS ラボラトリーズ ブロックチェーン研究グループヘッド デジタル上での「信頼」を構築するためには、要素技術（暗号・ブロックチェーン・デジタルアイデンティティ等）や、法規制など、信頼を担保するための様々な仕組みを作っていく必要がある。本セッションでは暗号学やデジタルアイデンティティ、トラストサービス等の専門家が、信頼構築に必要な枠組みを議論する。
11:30-12:20 モデレーター 概要	セッション3 デジタル資産への変わりゆく信頼 ケイヴォン ピレスターニ Head of APAC Institutional Coverage & COO Coinbase Singapore ジョシュ・ディームス フィデリティ・デジタル・アセット事業開発部長 ジャン＝マリー・モグネッティ COINSHARES INTERNATIONAL CEO KOMAINU HOLDINGS CEO マイケル・ケーシー CoinDesk CCO 大手決済プラットフォームなど、従来デジタル資産を取り扱わなかった事業者が次々に暗号資産事業に参入しており、伝統的通貨と暗号資産に対するトラストのバランスが変わり始めている可能性。本セッションではエコシステムの主要プレイヤーが集結し、デジタル資産の可能性と課題について議論する。
12:50-13:40 モデレーター 概要	セッション4 金融庁ブロックチェーン国際共同研究プロジェクト - デジタルアイデンティティの活用可能性と課題 佐古和恵 早稲田大学基幹理工学部情報理工学科教授 MyDataJapan 副理事長 間下公照 ジェーシービーイノベーション統括部次長 アンドレ・ボイセン SecureKey Technologies Inc. チーフ・アイデンティティ・オフィサー 渡辺翔太 野村総合研究所コーポレートイノベーションコンサルティング部主任コンサルタント 牛田遼介 ジョージタウン大学シニアフェロー 金融庁フィンテック室課長補佐 金融サービスをデジタル化する上で不可欠な構成要素の一つであるデジタルアイデンティティ。自己主権型／分散型アイデンティティ（SSI/DID）も含めたデジタルアイデンティティの金融における活用可能性と課題について、これまで研究成果をベースに研究プロジェクトのコアメンバーを中心に議論する。
14:00-14:50	セッション5 API エコノミーにおける金融の役割を再考する

モデレーター 概要	藤井達人 日本マイクロソフトエンタープライズ事業本部業務執行役員金融イノベーション本部長 FINOVATORS Co-Founder 丸山弘毅 インキュリオン代表取締役社長 富士榮尚寛 OpenID Foundation eKYC and Identity Assurance WG 共同議長 OpenID ファウンデーションジャパン理事 JAL ペイメントポート 取締役マーケティング部長 大久保光伸 金融庁参与 兼 内閣官房政府 CIO 補佐官 API エコノミーの進展により、BaaS (Banking as a Service)、組み込み金融 (Embedded Finance) という概念が実現されてきている。金融機関にはない顧客接点を持つ非金融企業が提供する金融サービスには、従来の金融サービスとは異なる着眼点があり、金融の未来を考える上で学ぶことは大きいと考えられる。API エコシステムに関わる様々なステークホルダーが、未来の金融のあるべき姿を議論する。
15:10-15:55 モデレーター 概要	特別座談会 1 ユーザー起点の金融サービスとは何なのか？ 沖田貴史 ナッジ代表取締役社長 Fintech 協会会長 河合祐子 Japan Digital Design CEO 室 Senior Researcher 加藤修一 伊藤忠商事執行役員 第8カンパニープレジデント 岡田大 金融庁総合政策局総合政策課長 FinTech とは本来はユーザーを起点として、いかに最適なサービスを提供するのかということに知恵を絞ることが期待されている。原点に立ち返って、どのようにすればユーザー起点のサービスを提供できるのか、様々な角度からこの分野に取り組んでいる専門家が議論する。
16:15-17:05 モデレーター 概要	セッション 6 BGIN - 1 年間の歩みの振り返りと今後の展望 鈴木茂哉 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 ローマン・ダンツィガー・パヴロフ Safestead CEO ジュリアン・ブリンガー Kallistech CEO マノージ・クマル・シンハ インド準備銀行副部長 マイ・サンタマリーア アイルランド財務省ファイナンシャルアドバイザー部門長 2020 年 3 月の設立から 1 年、BGIN (Blockchain Governance Initiative Network) は急速に拡大を続ける分散型金融システムにおける様々な課題に対して、マルチステークホルダー・アプローチによる解決策の模索を続けている。ムンバイ・パリで開催した全体会合 (Block #1 & #2) の成果や今後のロードマップについて、BGIN のコアメンバーが議論する。
17:25-18:10 モデレーター 概要	特別座談会 2 金融サービス新時代に向けたフィンテック・イノベーションの推進 貴志優紀 Plug and Play Japan Fintech and Brand&Retail 兼 Director Fintech 協会 理事 リチャード・ノックス 英国財務省金融サービスグループ長 (国際部門) パット・パテル シンガポール金融管理局 プリンシパルエグゼクティブオフィサー 野崎彰 金融庁組織戦略監理官 兼 フィンテック室長 コロナを契機としたデジタルイノベーションの動きが進展しており、金融サービス分野はその動きの主導的な立場にある。民間・公的部門から関係者が集い、金融サービスの将来像を展望しつつ、フィンテック・イノベーションをより一層促進していくための方策について議論する。
18:15-18:20	挨拶 麻生太郎 副総理 兼 財務大臣 兼 内閣府特命担当大臣 (金融)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3 月 18 日 (木)	
9:10-9:20	単独講演 ウィリアム・ラッセル 英国シティオブロンドン第 692 代ロードメーヤー

9:30-10:20	パネル Fintech as a Service ～コロナで加速する非対面金融取引が世の中を変える ジョン・ミッチェル エピソードシックス共同創業者 兼 CEO 副島豊 日本銀行決済機構局審議役 Fintech センター長 中山知章 三井住友フィナンシャルグループ執行役員デジタル戦略部副担当役員 三井住友銀行執行役員デジタル戦略部副担当役員 小島舞子 チャットブック 代表取締役社長 関口和一 MM 総研代表取締役所長 元日本経済新聞社論説委員 モデレーター 概要 Bank as a Service, Fintech as a Service という流れは数年前からあったが、昨年春の Covid-19 発生により、その動きは加速度的に進んだ。消費者にせよ、企業にせよ、非対面金融取引への要求に歯止めはかからない。Bottom up Revolution とも言えるこのトレンドに、Fintech はどう答えていくのだろうか。
10:30-10:45	単独講演 陳海騰 Huobi Japan 代表取締役社長
11:00-11:50	パネル DX・オープンイノベーションで切り拓く次世代金融サービス 鈴木伸武 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ代表取締役社長 若林恵 黒鳥社コンテンツディレクター 松岡剛志 日本 CTO 協会代表理事 レクター代表取締役 小川恵子 EY 新日本有限責任監査法人金融事業部パートナー 兼 EY Japan RegTech リーダー モデレーター 経済格差、貧困問題、気候変動・環境破壊に対する「ESG 金融」の必要性が叫ばれる中、次世代金融サービスはいかに課題に挑むか。その中で DX（デジタルトランスフォーメーション）やオープンイノベーション、そして Fintech はどういう役割を担うのか。大手金融機関、スタートアップ、政府・社会の連携によって形成されるデジタルエコシステムのキープレイヤーが、次世代金融サービスの未来を熱く語る。
12:10-12:25	単独講演 二見通 アフラック生命保険取締役上席常務執行役員 兼 CDIO (チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)
12:35-12:40	デモステージ シャーメイン・フー エピソードシックス 共同創業者 兼 最高財務責任者
13:00-13:20	単独講演 森田隆之 NEC 代表取締役執行役員副社長 兼 CFO
13:30-14:20	パネル 保険 API の可能性と金融サービスの未来 二見通 アフラック生命保険取締役上席常務執行役員 兼 CDIO (チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー) 小泉泰洋 あいおいニッセイ同和損害保険経営企画部プロジェクト推進グループグループ長 兼 担当部長 林良太 Finatext ホールディングス 代表取締役 CEO 岩田太地 NEC デジタルインテグレーション本部主席ディレクター 佐藤大和 日本経済新聞社編集局 NIKKEI Financial 編集長 モデレーター 概要 オープン API の議論は銀行 API 中心に進められてきたが、近年は保険 API も注目を集めつつある。特に、昨年成立した改正商法による金融仲介業の施行を控え、金融業横断的なコラボレーションやスタートアップとの業務提携などによって新しいビジネスモデルやサービスの誕生も期待されている。
14:40-15:40	スタートアップコンテスト ー決勝ピッチー
16:00-16:50	パネル KYC からその先へ ～スマホで自ら身元を証明する時代 赤石拓也 LINE eKYC 事業責任者 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 楠正憲 Japan Digital Design CTO 瀧島勇樹 経済産業省産業技術環境局技術振興・大学連携推進課長 モデレーター 山田康昭 GiveFirst 代表取締役 CEO 日本経済新聞社 SUM 事務局アドバイザー

概要	マネーロンダリング等の金融犯罪を未然に防止するための厳格な規制の元に運用されてきた KYC (Know Your Customer) は、経済・社会のデジタル化が急速に進むなかでオンライン上の様々なサービスや手続きで身元確認を求められる e-KYC へと進化しつつある。その先には、スマホを所有する個人があらゆるサービスや日常生活の中で、自分の身元を能動的に証明しながら力強く生き抜く KMP (Know My Passport) の時代が待ち受けている。
17:00-17:50 モデレーター	パネル グリーン金融革命 ～サステナブルファイナンスと WEALTH の民主化 ブレント・ビーズリー Vanguard Asset Management Head of Personal Investor マーティン・グレヴェルディンガー Avaloq Group CPO(Chief Product Officer) 竹田達哉 三井住友フィナンシャルグループ企画部サステナビリティ推進室室長 岩田太地 NEC デジタルインテグレーション本部主席ディレクター
18:00-18:40	アイデアソン・スタートアップコンテスト表彰式
18:40-18:45	主催者挨拶

シンポジウムセッション情報は 2021/03/12 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

FIN/SUM 事務局

ワークショップ (HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア)

3月16日 (火)	
14:00-14:50 モデレーター 概要	パネル マネーの歴史と現在、未来 齊藤誠 名古屋大学大学院経済学研究科教授 鎮目雅人 早稲田大学政治経済学術院教授 副島豊 日本銀行決済機構局審議役 FinTech センター長 新しいデジタルマネーが登場するなか、過去のマネー論や歴史的経緯を整理して現在生じている現象を理解し、未来のマネー象を考える手がかりとする。2つのマネーとマネーの起源：信用貨幣と商品貨幣、秤量貨幣と計数貨幣、2つの発券銀行モデル、これらの事例と登場した歴史的背景、かわらないもの（マネーの性質）と、かわっていくもの（組込型金融サービスの発展がもたらす情報処理システムとマネーシステムの連携）など
15:00-15:50 モデレーター 概要	パネル クロスボーダー決済の新時代ーコルレス・バンキングの変革 アラン・デルフォッセ スイフト・ジャパン カントリーマネージャー 井上雅美 日本銀行決済機構局決済システム課決済システム調査グループ企画役 川越洋 三井住友銀行決済企画部 部長 日本スイフトユーザーグループ ナショナルメンバーグループ チェアパーソン 田貝征之 JP モルガンチェース銀行東京支店ホールセールペイメント本部マネージングディレクター 三輪純平 金融庁国際政策管理官 新たな技術の登場により、クロスボーダー決済は変革の時を迎えている。2020年10月、金融安定理事会 (FSB) はクロスボーダー決済のコスト・スピード・アクセス・透明性の改善に向けたロードマップを公表。ノンバンクが台頭する中、伝統的なコルレス送金は今後どのように変わっていくのか。SWIFT の取り組みを紹介しつつ、コルレス・バンキングの将来像を探る。
16:00-16:50	パネル クロスボーダー決済の新時代ーFinTech の挑戦 安藤伸生 SBI レミット代表取締役 勢井美香 Wise ディレクター 山崎綾子 金融庁国際室課長補佐

モデレーター 概要	三輪純平 金融庁国際政策管理官 外国人材の受け入れ増加に伴う郷里送金等のニーズを背景に、日本のリテール国際送金市場は急拡大。IT を駆使したフィンテック企業は銀行と競い合いながら独自のビジネスモデルで成長を続けている。各社の紹介と共に、クロスボーダー決済サービスを提供する際の利用者保護・マネーロンダリング対策や改正資金決済法を踏まえた今後の事業展望について議論を行う。
17:00-17:50 モデレーター 概要	グローバルワークショップ：ポストコロナ時代のフィンテックの国際連携 シャーロット・クロスウェル Innovate Finance CEO サイエド・ムシール・アーメッド 香港フィンテック協会理事 チア・ホック・ライ シンガポールフィンテック協会会長 鬼頭 武嗣 Fintech 協会代表理事副会長 竹腰尚美 FinCity.Tokyo リレーションシップマネジャー 日本経済新聞社 FIN/SUM 事務局 新型コロナはフィンテック業界に困難と新しい商機をもたらした。本セッションでは英国、香港、シンガポール、日本のフィンテックエコシステムのリーダーたちを迎えて、それぞれのフィンテック市場への新型コロナの影響について議論する。また、優れたフィンテック製品や社会課題解決に向けての英知を国境を越えて活用するため、新しい時代にどのように国際連携を進めていくかを考察する。
18:00-18:50 概要	リレー登壇 日本 CTO 協会および DX 事例の紹介 篠塚史弥 FiNC Technologies 開発本部 執行役員 CTO 日本 CTO 協会 小賀昌法 日本 CTO 協会 理事 VOYAGE GROUP 取締役 CTO 社会インフラである金融システムを運用する企業における DX(Digital Transformation)には「守り続けること」と「デジタル化のために変化すること」の両方を満たしながら進めることが求められます。本セッションでは、伝統ある企業の DX を推進していくときに有用な 2 つの様式、本協会理事の DX 事例、本協会が考える超高速な仮説検証能力、ならびに本協会の活動を紹介します。

ワークショップ（HALL B: 丸ビルコンファレンススクエア）

3 月 17 日（水）	
9:00-9:50 モデレーター 概要	パネル 海外インシュアテックスタートアップで大型資金調達が続く理由 アサフ・ウォンド ヒッポエンタープライズ チーフエグゼクティブオフィサー ガイ・ゴールドスタイン ネクストインシュアランス チーフエグゼクティブオフィサー ジョン・ソバーク MS&AD ベンチャーズ マネージングパートナー 欧米やアジアで数百億円規模の資金調達に成功するインシュアテックスタートアップが相次いで誕生している。その背景にあるのは何か。VC の動向、視点を通して世界の保険業界の未来を予測する。
10:00-10:30 概要	Exit to Community ～未上場企業の資金調達手段およびエグジットの多様化～ 柴原祐喜 日本クラウドキャピタル代表取締役 CEO 株式投資型クラウドファンディング（ECF）は、未上場企業が広く個人の投資家から投資してもらう資金調達手段である。起業家にとっても投資家にとっても、単なるエクイティファイナンスの手段に留まらない、多様な可能性を持つと期待されている。本セッションでは ECF の現状と、現在開発中の未上場企業のセカンダリーマーケットの概要と Exit to Community という企業にとっての新しい EXIT 手段の可能性に触れる。
11:10-11:50 概要	on LINE KYC で始める窓口・バックオフィス業務の DX 赤石拓也 LINE eKYC 事業責任者 金融分野をはじめ、非対面での口座開設や継続的な本人確認を素早く効率的に行うことへのニ

	ズが高まっています。本セッションでは窓口・バックオフィス業務に焦点を当てて、本人確認の on LINE 実施に伴う、継続的な本人確認や諸手続きの DX ソリューションや LINE が目指す将来像についてご紹介いたします。毎月 8600 万人を超える方にご利用いただいている LINE アプリに on-LINE KYC を組み込むことで、リモート・非対面でのお客様へのコミュニケーションやサービス提供を拡充する方法をご紹介いたします。
11:50-13:00	休憩
13:00-13:50	パネル デジタル身分証と API による自治体 DX と金融包摂 肥後彰秀 TRUSTDOCK 取締役 菊池梓 TRUSTDOCK 取締役 神谷英亮 TRUSTDOCK パブリック・アフェアーズ担当 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO モデレーター 概要 創立から一貫して「デジタルアイデンティティの主役は個人」と提唱し続けている TRUSTDOCK。徹底的に住民目線を追求したアプローチで、複数の地方自治体と「デジタル身分証」の実証実験を進めている。自治体との協働の様子、最先端の eKYC の取組を交え、新法案によるデジタル社会が形成される中で熱を帯びる社会のニーズをお届けするとともに、民間の身元証明機関として今後果たすべき役割を提案する。
14:00-14:50	リレー登壇 CB-Tech の最前線 2nd GIG 王悠介 日本銀行調査統計局主査 須合智広 日本銀行調査統計局企画役 鷺見和昭 日本銀行金融市場局企画役 菅和聖 日本銀行金融研究所企画役補佐 副島豊 日本銀行決済機構局審議役 FinTech センター長 概要 中央銀行である日銀が取り組む先進的な情報技術について、調査統計局、金融市場局、金融研究所、決済機構局のそれぞれの部門ごとに紹介する。位置情報データによる経済活動のナウキャスティング、機械学習手法の投資家センチメント分析への応用、量子コンピュータ動向と次世代暗号標準化、デジタル証券市場の潮流など。
15:00-15:50	パネル オルタナティブデータ活用による金融業界の発展 白熊ルネ 野村アセットマネジメント資産運用先端技術研究部先端技術研究グループ シニア・データエンジニア 鹿子木亨紀 ニッセイアセットマネジメントソリューション部ソリューション・リサーチ・ヘッド 杉本将之 KDDI パーソナル事業本部サービス統括本部パートナービジネス開発部データ戦略 G グループリーダー 瀧本祐介 au アセットマネジメント営業企画部次長 山内康弘 QUICK サービスプロダクト本部副本部長 モデレーター 概要 世界的に活用が進んでいるオルタナティブデータですが、日本では、まだ広く活用されていません。日本を代表する運用会社、事業会社、情報サービス会社が、日本のオルタナティブデータの運用の現状と展望に関して討論します。運用会社と大学で行っている共同研究の目的と今後の活用、事業会社が提供を予定しているデータの展開、情報サービス会社が考えるエコシステムなど、最新事例を交えてこれからのオルタナティブデータ活用について考えるパネルディスカッション。
16:00-16:50	パネル 1.ヘルステックマーケットの潮流と保険業界へのインパクト 2.東京都の国際金融都市構想について 青木計憲 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング金融・保険セクターリーダー パートナー 荻生泰之 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング ストラテジックインパクトパートナー

モデレーター 概要	小川恵子 EY 新日本有限責任監査法人金融事業部パートナー 兼 EY Japan RegTech リーダー 1.グローバルではヘルスケアにテクノロジーを組み合わせた”ヘルステック”市場が拡大しています。マーケットの潮流を踏まえ、日本における保険会社とヘルステック企業の将来像をご説明します。 2.東京都は国際金融都市構想を掲げ、金融の活性化に向けて海外の金融系企業の誘致を行っており、今後、インシュアテック/ヘルステック企業の国内での発展、海外からの日本進出が想定されます。このような潮流を踏まえて、東京都の国際金融都市構想、社会課題解決、保険会社・関連産業の関わり合い方について論じます。
17:00-17:45	NEM Workshop 第一部 CBDC とトークンエコノミー デジタル通貨は銀行業界をどう変えるか アントニー・ウェルフェア NEM Software Executive Director, Enterprise 中島真志 麗澤大学経済学部教授 赤羽喜治 NTT データ金融事業推進部デジタル戦略推進部ブロックチェーンチーム部長 中村龍矢 Layer X 執行役員 Layer X Labs 所長 西村博之 日本経済新聞社編集委員兼論説委員 概要 デジタル人民元を筆頭に、各国の中央銀行は相次いで CBDC の導入を検討し始めた。また、暗号資産業界ではステイブルコインの投入などをきっかけに、様々なビジネスシーンでのデジタル通貨の活用を画策している。今後、こうした動きは銀行業界にどのような変革をもたらすのか。様々な角度から議論する。
17:45-18:30	NEM Workshop 第二部 CBDC と規制 ～導入に当たっての課題は何か イアン・ウィルソン NEM グループ CFO 藤本守 SBI ホールディングス執行役員 SBI R3 Japan 代表取締役社長 増島雅和 森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士 西村博之 日本経済新聞社編集委員兼論説委員 概要 CBDC の導入にあたっては、技術的なハードルの他にその国ごとに微妙に異なる金融法規などを乗り越える必要もある。その規制面での課題とは何か、議論する。

モデレーター
概要モデレーター
概要

ワークショップ (HALL B:丸ビルコンファレンススクエア)

3月18日(木)	
11:20-12:20	リレー登壇 Youzan Japan が考える地方創生、だれもが参加できるソーシャル EC の魅力 杉本武寛 Youzan Japan 最高マーケティング責任者/CMO 千里智傑 Youzan Japan 最高執行責任者/COO インバウンド需要減で大きな影響を受けた地方経済にとって、ブランディングが大きな課題となっている。地域の文化、観光、人々の暮らし等の情報を広げる Youzan の越境 EC（電子商取引）サービスは「情報発信プラットフォーム」として新しい形の地域振興策となり得る。セッションでは、北海道企業の中国向け越境 EC サイト「北海道商店」の事例や、生産者や芸能人など KOL(Key Opinion Leader)によるライブ販売など事業者と消費者が直接つながる事例を紹介、ソーシャル EC の魅力と可能性を解説する。
12:30-13:00	アイデアソン 「新しいコミュニケーション方法が求められる時代の幕開け」 葉映秀 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング wavespace ディレクター 100%オンラインで行われることになった FIN/SUM アイデアソンで、チームメンバーによるディ

12:30-13:00

概要

	スカッションツールとしてオンラインホワイトボードシステム「Mural」を提供した EY Wavespace チームが、新しいコミュニケーション方法のあり方について語る。 「アイデアソンの説明」 小川恵子 EY 新日本有限責任監査法人金融事業部パートナー 兼 EY Japan RegTech リーダー 山田康昭 GiveFirst 代表取締役 CEO 日本経済新聞社 SUM 事務局アドバイザー
13:00-14:30	アイデアソン 5つのチームによるプレゼンテーション for GodHand BANKER'S Smooth ゆいまーる 概要 FIN/SUM アイデアソンに参加する 5 つのチームによるプレゼンテーションと Q&A。「非対面での金融活動における新たな信頼構築」をテーマにし、1 カ月に及ぶオンラインディスカッションで練り上げたアイデアを披露する。審査員は、市場性、創造性、実現可能性、影響度・多様性、明確性の 5 つの指標について 5 段階評価で採点する。
14:30-16:00	Break Time スタートアップピッチが HALL A で開催中
16:00-16:40	パネル SWIFT と共に進めるイノベーション ― 世界に向けた金融サービスの未来を SWIFT と共に築き上げる アラン・デルフォッセ スイフト・ジャパカンントリーマネージャー 鈴木咲子 スイフト・ジャパンビジネスイノベーションディレクター 概要 SWIFTgpi から始まった進化が、2022 年の 11 月のヨーロッパの ISO20022 への全面移行に合わせて、新たな次世代デジタルプラットフォームとして生まれ変わります。単なるネットワークサービスではなく、API を駆使して送金データをエンドツーエンドで管理し、事前検証や海外送金に必要なスクリーニング等をワンストップで提供します。新たなサービスを通じて、SWIFT が提供する可能性について海外の事例を含めてご紹介します。
17:00-17:30	対談 Embedded Banking – 日常に金融行動を組み込むには シーラ・ケーガン PayKey CEO 瀧俊雄 マネーフォワード執行役員 CoPA 兼 Fintech 研究所長 概要 第三者アプリやプラットフォームに銀行取引を組み込む Embedded Banking (埋込型金融) が脚光を浴びており、今後も新たな顧客体験を可能にするソリューションとしての急成長が見込まれている。本セッションでは銀行がオープンバンキングの流れの中、どのように外部製品を活用することにより、よりシームレスで顧客の行動に寄り添った金融サービスを提供できるのか議論する。
17:30-19:00	Break Time アイデアソン・ピッチコンテスト表彰式が HALL A で開催中

セッション情報は 2021/03/12 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

FIN/SUM 事務局

[上に戻る](#)